

平成21年度第3回（第8期第8回）小平市廃棄物減量等推進審議会  
会 議 次 第

平成21年9月16日（水） 午後2時～ 中央公民館 2階講座室2
--

- 1 開会
  
- 2 事務局報告
  
- 3 諮問事項の審議  
各分科会からの報告及び審議
  
- 4 その他
  
- 5 閉会

配付資料

---

ごみと資源の出し方平成21年10月保存版  
ごみ分別・減量特集号  
ごみらいふ  
情報提供のあり方部会棚井委員のまとめ

## 事務局報告

事務局より3点報告いたします。1点目としましては、10月よりごみと資源の出し方が一部変更になります広報としまして、分別方法の変更点を詳しく記載しました8月20日市報特集号を新聞折込しています。また、今月中までに、ごみと資源の出し方保存版のパンフレットを市内全域に各戸配布します。2点目としまして、9月12日(土曜)にこだいらエコフェスティバル'09を福祉会館前市民広場にて小平市ごみ減量推進実行委員会と市の共催で開催し、多くの市民に会場いただき、ごみ減量や環境保護の啓発を推進することができ、盛況のうちに終わることができました。3点目としまして小平市ごみ減量推進実行委員会が年2回発行しています「ごみらいふ9月号」を市報9月5日号と併せて新聞折込しました。今回は身近にできるエコライフとして自転車をテーマにしています。ごみ減量に関する記事も載せていますので、ぜひご一読ください。以上になります。

## 市民協働・啓発活動推進部会報告

## 1. 市民主体の啓発活動

(市民個人)

- ① ごみの発生抑制を図る  
必要なものを必要量だけ購入し使いきる、リサイクルする、過剰包装を断る
- ② 生ごみの水切りの徹底を図る  
ネットの使用、縛る、重石、乾燥等する事で、重量や容量を減らす
- ③ 正しく分別する、指定の曜日に集積所に出す  
資源とごみは混ぜるとごみ 曜日違いは収集されない
- ④ 生ごみの自家内処理の取り組みと、生ごみ処理機の活用  
コンポスト容器、EMバケツ、専用通気容器他、補助金制度もある
- ⑤ フリーマーケット・エコフェスティバルやイベントに参加する  
生ごみ処理機のPR、マイバッグキャンペーン、正しいごみ分別の説明などある、
- ⑥ マイバッグ持参  
買い物、またお出かけの際は、必ずマイバッグ持参で
- ⑦ 小中学生による登校時のごみ出しの手伝い  
子供たちに環境やごみ問題に無理なく関心をもってもらう
- ⑧ 集積所の清掃やカラス対策  
集積所は収集車が来るまでの置き場であって捨て場ではない、集積所の清掃管理は利用者が行う

(市民団体・事業者・青少対・自治会・クリーンメイト)

- ① マイハシ・マイ食器の持参  
環境学習やごみ減量からスポーツ大会・青少対の校外活動・各種イベントに各自持参
- ② 貸し出し容器の利用  
フェスティバルやイベント会場では、貸し出し容器を利用し、ごみを出さない
- ③ マイバッグ持参や簡易包装の奨励  
スーパーや商店街、小売店でポイント、景品、値引き、抽選などのサービスがある
- ④ 学生やアパート住民の転入、転出時のごみ出しの指導  
不動産業者、管理人、オーナーを中心に、自治会、クリーンメイト、利用者も協力

- ⑤ 集団回収の活用  
新聞、ダンボールを、自治会、子ども会、老人会、スポーツクラブ、作業所などで回収、補助金制度もある
- ⑥ 生ごみ堆肥化の講習会の開催  
EM菌利用による講習会の定期的な開催
- ⑦ マイバッグ作りの講習会の開催  
不要になった傘を活用
- ⑧ 廃油からの石鹸作り講習会の開催  
てんぷらなどの揚げ物に使用した、植物性の廃油から作る石鹸
- ⑨ 夏休み中の小学校の生ごみ処理機の活用  
地域住民や通学児童の家庭を中心に利用
- ⑩ ごみに関する会報の発行（年4回）  
ごみ削減、生ごみ堆肥化、落ち葉収集と農家へ、野菜作り、環境学習の協力、学習会、見学会、提言活動などの活動をしている
- ⑪ 市民及び学生のサークル活動  
環境学習サークル、見学会やイベントに出展他、「ごみ問題を考える」学生サークルもある

## 2. 行政主体の啓発活動

- ① 生ごみの一次処理物の引き取りと堆肥化（民間業者に委託）
- ② 出前講座・ミニ出前講座の開催  
ミニ出前講座 10月1日からのごみ・資源の収集方法の一部変更に伴い、色々な催し会場に出向き、パネルを使い5分～10分程度で説明
- ③ ごみ減量や分別等の展示コーナーの常設
- ④ 集団回収の奨励  
新聞やダンボールの回収、自治会、スポーツクラブ、町会、作業所
- ⑤ 会社や事業所へのごみ減量のチラシや資料の配布、訪問等啓発活動の推進を図る
- ⑥ マイバッグ持参の奨励
- ⑦ 障害者や日本語のわからない人向けに、「ごみと資源の分別と出し方」の点字、音声ガイド、パネル、外国語の冊子の配布
- ⑧ クリーンメイトの増員と活動の拡大を図る
- ⑨ 市民、事業者、グループで行う廃棄物減量の活動に対して、情報の提供をはじめ、ノウハウや場所の提供など様々な支援をする
- ⑩ 環境学習の取り組みの充実  
幼児期から一般市民まで、年代に合った学習が大切、幼児向けには楽しく、ゲーム感覚で

## 3. 協働による啓発活動

- ① 問題のある集積所の改善  
学生や単身者が多く住むアパート周辺の集積所は、地域との繋がりが希薄で管理や人の目が届かず問題のある所が多い  
問題の集積所を利用している住民にごみや分別のチラシや市報の手渡し・クリーンメイトによるパトロール、近隣自治会や町会会員による声かけ、市も協力、優良集積所を参考に、話し合いの場を設け解決を図る
- ② ルールを知らない・知っていても守らない  
外国人に自国語で書かれたルール冊子を収集業者やクリーンメイトが手渡し、市民には自治

会員やクリーンメイトが訪問しチラシの手渡しと口頭で協力依頼をする、市もパトロールする

- ③ フェスティバルやフリーマーケットでの協働  
エコフェスティバルやフリーマーケットのイベントへの参加で、ごみ減量や分別の方法、生ごみ処理機の PR、家庭で出来るごみ減量やパネルによる正しい分別を知る事で、自分出来る事、何をすべきかがわかり、実践に繋がる
- ④ 広報紙「ごみらいふ」の発行年2回、6大新聞に折り込み配布と窓口配布

#### 情報提供のあり方部会報告

1. 誰に、どのような方法で、どのような情報を伝えるのかという観点で情報のあり方をまとめた。情報を伝える対象として、市民のごみ減量に対する関心度や、日常生活でのごみに関する習慣により次の4つに分類して、それに合わせた情報提供のあり方を考えた。

- 1) ごみや環境に関心が高く、日常生活の中でごみ減量を積極的に実践しているか、実践の期待できる市民及びごみや環境に関心があり、日常生活の中ではごみ減量をある程度実践している市民及び団体
- 2) ごみや環境に関心薄く、日常生活の中に、あまりごみ減量を考えていない市民
- 3) 新聞や市報を読む環境にない市民、すなわち情報の伝わりにくい市民
- 4) 学生、生徒及び学習の場を求める市民

2. ここで分類した4つのタイプの市民それぞれを対象に、どのような場面でどのようなメディアを使って、何を伝えるかを考えた。

1) ごみや環境に関心が高く、日常生活の中でごみ減量を積極的に実践しているか、実践の期待できる市民及びごみや環境に関心があり、日常生活の中ではごみ減量をある程度実践している市民及び団体

1. 市報やごみカレンダーに関して

- ① 市報やごみカレンダーなど行政の配布物は多くの市民によく読まれていると考えられる
- ② 小平では分別の方法が平成17年から変わっていないのでその後配布していないが、各家庭でどのように利用されているのかを検討し、対応を考える
- ③ カレンダー配布の目的は、ごみを出す日にちを確認するばかりでなく、分別の方法や各家庭での分別の実情を表現され、「ごみ+エネルギー+環境」の総合情報誌と考えたものを配布することが望ましい
- ④ 市報の欄外を使い、ごみ問題のトピックス等の宣伝に利用したい

2. 町会、自治会、アパートの管理者を介しての情報提供

- ① ごみの出し方や分別方法を不動産会社を通じて、入居時に入居者に指導してもらう
- ② アパートの管理会社を通して、アパートの住人、学生へ常にごみ問題の市報ごみ特集号のようなものを配布すると良いのではないか

3. ごみ集積所において

- ① 分別不徹底のものはその場での収集はせず、貼紙で注意する
- ② 集積場に立て札、張り紙に分別を明記する

4. イベント会場において
    - ① 産業まつりや市民まつりなどのイベント会場において、マイバッグ持参の人に抽選券などの優遇措置でマイバッグの普及を図る
    - ② イベントごみを減らすため、マイはし、マイ食器などの普及が効果的
    - ③ 子供対象の行事も考える
  5. 事業所、お店を対象に
    - ① 米、豆腐、お茶、お惣菜など包装材減量に、容器持参者にスタンプなどで還元実践できる場を提供できないか
    - ② 事業所ごみは有料であることを宣伝、働きかけが不足している。より登録事業者を増やす努力が必要
  6. 商工会、商店会、活動団体、集団回収団体等の組織を対象に
    - ① ごみ行政の施策や実績、なぜごみ減量かを理解出来るように話し合いや印刷物などの配布
  7. 市役所で
    - ① 転入手続きに来た人へごみに関するパンフレット等を渡すとともに口頭での説明をする
    - ② ごみの分別等の常設展示コーナーを作る
- 2) ごみや環境に関心薄く、日常生活の中に、あまりごみ減量を考えない市民
1. 市報やごみカレンダーに関して
    - ① 分別方法とごみの出し方、分別方法の各家庭での実情を簡単に表現
    - ② 市報欄外を使い宣伝
  2. 町会、自治会、アパートの管理者、事業団体等を介しての情報提供
    - ① ごみの出し方や分別方法を不動産会社を通じて、居住者に指導してもらう
    - ② アパートの管理会社に学生等に指導をお願いする
  3. ごみ集積所において
    - ① 分別不徹底のごみは、即日収集はせず、貼紙等で周知する
    - ② 集積場に立て札や張り紙を
  4. イベント会場において
    - ① 産業まつり等のイベント会場でマイバッグの宣伝
    - ② のぼりや垂れ幕などにごみに関するスローガンやトピックス的なことを宣伝する
  5. 事業所、お店を対象に
    - ① 戸別訪問により事業所ごみは有料であることを宣伝し協力をお願いする
  6. 市役所で
    - ① 転入手続きに来た人へごみに関するリーフレット、パンフレット等を渡すとともに口頭での説明をする
    - ② ごみの分別等の常設展示コーナーを作る
    - ③ 「ごみ減量の基本は水切り」とか、「1日〇グラム減」「お茶碗いっぱい分の減量」など具体的に宣伝が分かりやすい
    - ④ 公用車に標語マスクをつける
- 3) ごみ減量に関心のあるなし以前に、新聞や市報を読む環境にない市民
1. 市報やごみカレンダーに関して
    - ① 分別の方法、ごみの出し方の簡単な印刷物の配布
  2. 町会、自治会、アパートの管理者を介しての情報提供
    - ① ごみの出し方や分別方法を不動産会社を通じて、入居時に指導してもらう

- ② アパートの管理会社、自治会等から市役所との連携で常時、居住者に働きかける
  - 3. ごみ集積所において
    - ① 分別の悪いものは、収集してもらえない事を張り紙などで知らせる
  - 4. 新聞を読む環境にない人へ
    - ① 期間、場所を考えながら、のぼりや垂れ幕、公用車へのラッピングやマスクなどで、ごみ関連のキャッチコピーを宣伝する
  - 5. 自治会などに入っていない人へ、外国人など日本語がわからない人へ、住民登録もしていない人
    - ① 自治会のない町や会員になっていない人はクリーンメイトや収集業者などにより分別状況を把握し、戸別訪問して簡単なパンフレットの配布や口頭で協力依頼する
    - ② ごみの出し方や分別の外国語（6ヶ国語）の冊子の配布
    - ③ 学生等への情報提供は学校に協力を依頼する
  - 6. 市役所で
    - ① ごみの分別等の常設展示コーナーを作る
    - ② 「ごみ減量の基本は水切り」とか、「1日〇グラム減」「お茶碗いっぱい分の減量」など具体的な宣伝が分かりやすい
- 4) 学生、生徒及び学習の場を求める市民
- 1. 小学校3年、4年のエコ教室において、ごみの出し方を学ばせるとき、CO<sub>2</sub>や、緑、エネルギー、枝きり、飼料、肥料などゲーム感覚で学べる教材の開発
  - 2. 大人対象の学習の場において、総合的環境活動としてのごみ減量の効果を宣伝する
  - 3. 印刷物など作る時、分別する理由をつけると納得してもらえるのではないか
  - 4. ホームページや市報などにコラム欄を新設し、面白く読ませる工夫の記事を載せておく
  - 5. リサイクルプラザのようなごみに関する調査、学習の場、見学会などを市民で提供出来る場を提供する
6. 市役所ホームページの活用